

令和3年度 公共事業再評価調書

担当部/課名	都市整備部道路建設課
--------	------------

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着手 (5年) <input type="radio"/> 長期間継続 (5年) <input checked="" type="radio"/> 再評価後 (5年) <input type="radio"/> その他 ()
---------	--

I 事業概要

事業種別	道路整備事業	事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国補助 <input type="radio"/> 県補助 <input type="radio"/> 市単独					
事業名	桑原29号線(3・2・2)道路整備事業	事業箇所	大字桑原字稲葉～自由ヶ丘2丁目地内					
採択年度	平成 14 年度 (用地着手 平成 15 年度 / 工事着手 平成 20 年度)							
終了予定年度	令和 12 年度							
事業目的	<p>・3・2・2号内環状線は、青森市都市計画マスタープランにおいて、青森市の骨格となる道路網2高速2環状5放射道路に位置づけられている主要幹線道路である。</p> <p>・また、同路線は、3・2・3号外環状線(一般国道7号青森環状道路)桑原地区から市街地内を経由し、フェリー埠頭に至る、延長約12,080mの都市の骨格を形成する主要幹線道路である。当該路線のうち、約7,290mが整備済みで、整備率は約60%となっている。</p> <p>・当該事業は、主要幹線道路の1つである3・2・2内環状線の起点部分であり、一般国道7号青森環状道路と自由ヶ丘地区を接続することで、交通ネットワークを形成することにより、交通量の分散を図り、市内の円滑な交通を確保しようとするものである。</p>							
主な内容	区 分				増 減			
	① 計画延長	500.0 m	500.0 m	0.0 m				
	② 計画幅員	30.0 m	30.0 m	0.0 m				
	③ 事業費	1,227百万円	1,875百万円	648百万円				
	※事業量や総事業費の増減に係る説明等を記入。 (・道路・橋梁について、修正設計により事業費の見直しを行ったため。 ・資材単価や労務費の高騰及び諸経費率の上昇のため。)							
事業費	(単位:百万円)							
		～平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	小計	令和4年度～	合計
	○事業費	460	150	140	238	988 (a)	887	1,875 (e)
	うち①用地費	225	0	0	0	225 (b)	0	225 (f)
	②工事費	177	150	140	238	705 (c)	887	1,592 (g)
	③その他	58	0	0	0	58 (d)	0	58 (h)

II 評価指標及び項目別評価

1 事業の進捗状況

事業の進捗状況	計画全体に対する進捗	
	○事業費割合	52.7 % [(a)/(e)]
	うち①用地費	100.0 % [(b)/(f)]
	②工事費	44.3 % [(c)/(g)]
	③その他	100.0 % [(d)/(h)]
説 明	<p>・当該路線は、平成14年度に事業着手し、平成15年度より用地買収を行い、平成19年度において完了している。</p> <p>・平成20年度より、軟弱地盤対策の盛土工事及び道路整備工事を行っている。</p> <p>・令和3年度は、橋梁下部工(右岸側)を整備中。</p>	
問題点 解決見込み	なし。	
事業効果 発現状況	部分供用等なし。	

2 社会経済情勢の変化

必要性	・当該路線を一般国道7号青森環状道路に接続させることにより、浜館・小柳地区方面から東部方面への利用者の相互移動だけではなく、さらに、既存の国・県・市道交通量の分散を図り、円滑な交通を確保するため、整備する必要がある。
適時性	・平成21年7月に一般国道7号青森環状道路のうち筒井～後范間の約4.4kmにおいて、4車線にて供用開始となったことから、本路線の早期の整備が求められている。
効率性	・当該路線と一般国道7号青森環状道路を接続させることにより、周辺の交通ネットワークが形成され、交通の分散を図ることができる。

3 費用対効果の分析

区分	主な項目	
	費用項目(C)	① 事業費
② 維持管理費		6 百万円
③		百万円
④		百万円
⑤		百万円
総費用		2,018 百万円
便益項目(B)	① 走行時間短縮便益	1,465 百万円
	② 走行経費減少便益	214 百万円
	③ 交通事故減少便益	7 百万円
	④	百万円
	⑤	百万円
	総便益	1,686 百万円
費用便益比(B/C)	費用便益比(B/C)	0.835
	補正費用便益比(B/C*α)	1.173

※地域補正係数(α):1.404(青森地方生活圏)
 ※費用対効果分析の根拠等
 (・「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)」(平成21年6月、国土交通省)
 ・「費用便益分析マニュアル」(平成30年2月、国土交通省道路局、同都市局)
 ・「道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱」(令和2年3月、青森県 県土整備部 道路課))

4 コスト縮減や環境配慮などへの検討

コスト縮減等	・路盤材・舗装合材に再生材を使用し、環境負荷の低減と経費の縮減を図る。
--------	-------------------------------------

III 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 計画変更して実施 <input type="radio"/> 事業中止 <input type="radio"/> 事業休止
評価理由等	・当該路線は、本市の都市計画マスタープランに位置づけている主要幹線道路であり、一般国道7号青森環状道路と接続させることにより、交通ネットワークが形成されることから、費用対効果を踏まえ、着実に事業を継続実施する必要があると考える。